

百年の時を経て

JR 相見駅

あ い み え き

相見駅設置に向けた100年のあゆみ

| | |
|---------|---|
| 明治33 | 相見村停車場設置期成同盟会設立 (後に広田村停車場設置期成同盟会へ改編) |
| 明治39.5 | 広田村誕生(坂崎村、相見村、深溝村の合併) |
| 明治41.9 | 幸田停車場(幸田駅)開業 |
| 明治41.11 | 幸田村へ村名改称 |
| 昭和27.4 | 町制施行、幸田町誕生 |
| 昭和29.8 | 豊坂村と合併し、新生「幸田町」誕生 |
| 昭和42.3 | 三ヶ根駅開業 |
| 平成1.9 | (仮称)相見駅設置促進期成同盟会設立 |
| 平成8.9 | 都市施設整備基金創設 |
| 平成9.4 | 第4次幸田町総合計画「3駅プラス1」構想スタート |
| 平成14.5 | 幸田相見特定土地画整理組合設立 |
| 平成15.10 | カメラガーデン幸田オープン |
| 平成18.4 | 第5次幸田町総合計画スタート |
| 平成19.3 | 基本合意として「新駅等設置の計画協議推進に関する覚書」締結 |
| 平成19.3 | 新駅調査に係る「調査協定」締結 |
| 平成20.10 | 「基本協定」締結 |
| 平成20.12 | 「工事協定」締結 |
| 平成22.6 | 建築工事起工式 |
| 平成23.7 | 駅名「相見駅」に決定 |
| 平成23.12 | 相見駅開業日、平成24年3月17日に決定 |

相見駅設置のすべての始まりは、明治33年。当時、現東海道本線が大垣までつながり、岡崎と蒲郡に停車場が設けられていました。両駅の間となるこの地に新しい駅の設置を望んだ村の人たちは、期成同盟会を結成し、国鉄当局に新駅設置を働きかけました。

このように明治時代からの誘致活動、平成元年からの(仮称)相見駅設置促進期成同盟会の活動、幸田相見特定土地画整理組合による周辺整備、幸田町総合計画における「3駅プラス1」構想による誘致活動など、さまざまな活動に支えられてきた相見駅。百年の時を経ていよいよ3月17日(土)に開業を迎えます。

平成22年6月

平成22年5月

3月17日

開業



相見駅は、幸田駅から3.1キロメートル、岡崎駅から4.3キロメートルの位置に建設が進められ、町内では、明治41年（一九〇八）の幸田停車場（幸田駅）、昭和42年（一九六七）の三ヶ根駅に続き、町内三つ目の駅として町北部地域の発展の礎となることが期待されます。

相見駅駅舎・自由通路の概要

相見駅駅舎と自由通路は採光に配慮し、ガラス面を多く取った箱型で、自由通路からは周辺風景や山並みを展望できます。

また、照明にはLEDを採用し、タイマーおよびセンサーで制御するなど環境に配慮するとともに、自由通路にはエレベーターに加えエスカレーターを設置し、東西の新市街地間をスムーズに移動できるよう配慮しています。

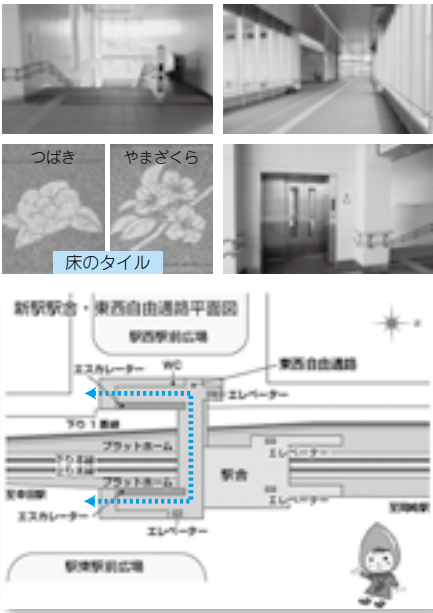


相見駅駅舎

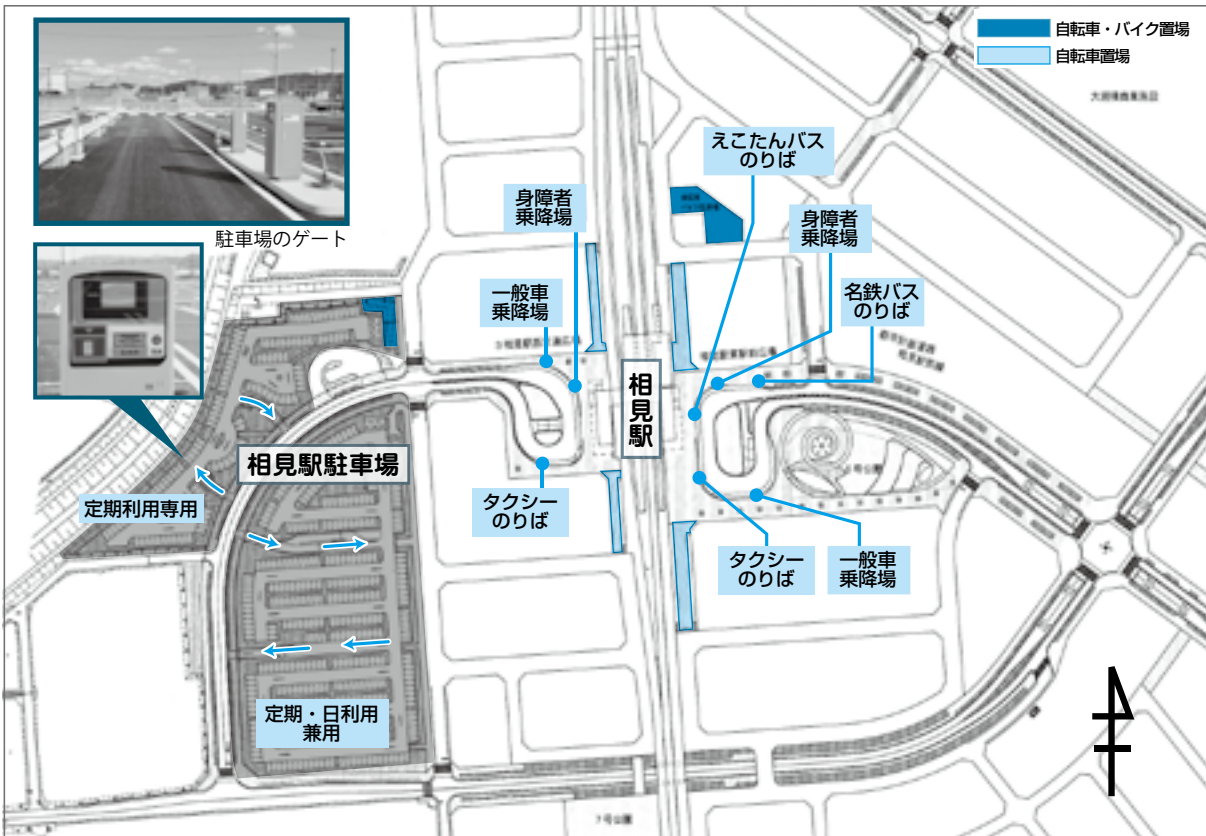
- ・駅は線路の上に改札口のある橋上駅で、自由通路により東西駅前広場につながります。
- ・プラットホームは、下り線に待避線を設けた島式と上り線に相対式を設けた2面3線の構造になっています。
- ・改札は自由通路から入り、プラットホームへは階段またはエレベーターで降ります。

相見駅自由通路

- ・相見駅自由通路は駅舎と一体のもので、駅への出入り口とともに、鉄道により分断される東西間の通行を確保するため、町管理の通路として24時間通行可能な施設となります。
- ・幅員は十分な移動が確保できるよう、2階通路部分で4.5メートルの幅を確保しています。
- ・上下移動に対して、バリアフリーに配慮し階段のほかエレベーターおよびエスカレーターを設置し、移動の快適性を確保しています。



各種乗降場・駐車場などの概要



相見駅駐駐車場について

相見駅駐駐車場

収容台数 500台
うち、定期利用台数 250台
日利用台数 250台

開業日 4月1日(日)～

利用時間 全日(24時間)

利用方法 ①入庫は、駐車場入口の駐車券発行機の前で車を止め、ボタンを押し、駐車券を受け取ります。

②出庫は、駐車場出口の料金精算機に駐車券を差し込み、表示された金額を投入するとゲートが開き、出庫できます。

料金 日利用 6時間未満300円
6時間以上24時間未満500円
※24時間を超える毎に上記時間に該当する金額を加算します。

※4月より5,500円分を5,000円で購入できるプリペイドカードも販売します。(幸田駅西第1駐車場・相見駅駐車場共通利用可)

そのほか 駅を利用し通勤・通学される人を対象に定期でもご利用いただけます。詳しくは左記までお問い合わせください。

問合せ 産業振興課商工観光G
(内線2604)

※幸田駅西駐車場の自動ゲート化については16ページをご覧ください。

3月16日開催

相見駅完成式典を 開催します！

相見駅開業の前日にあたる3月16日（金）に相見駅東西駅前広場にて「相見駅完成式典」を挙行します。午前10時30分ごろから、「自由通路の渡り初め」を実施しますので、参加をご希望の人は当日、東側駅前広場までお越しください。

なお、お車でお越しの際は、西側「相見駅駐車場」に駐車の上、町のシャトルバスにて東側駅前広場までお越しください。

また、当日はおしるこなどの無料配布もを行います。
*先着順となります。



▲えこたん

3月17日から

幸田駅に「特別快速」が 停車します！

JR春のダイヤ改正による相見駅の開業に伴い、平日の朝通勤時間帯において、名古屋方面への一部の普通列車が相見駅で快速列車の通過待ちを行います。幸田駅、三ヶ根駅、三河塩津駅の3駅から名古屋方面への快速性を確保するため、平日午前7時台に「特別快速」2本（7時31分、47分発 大垣行き）が幸田駅に停車します。

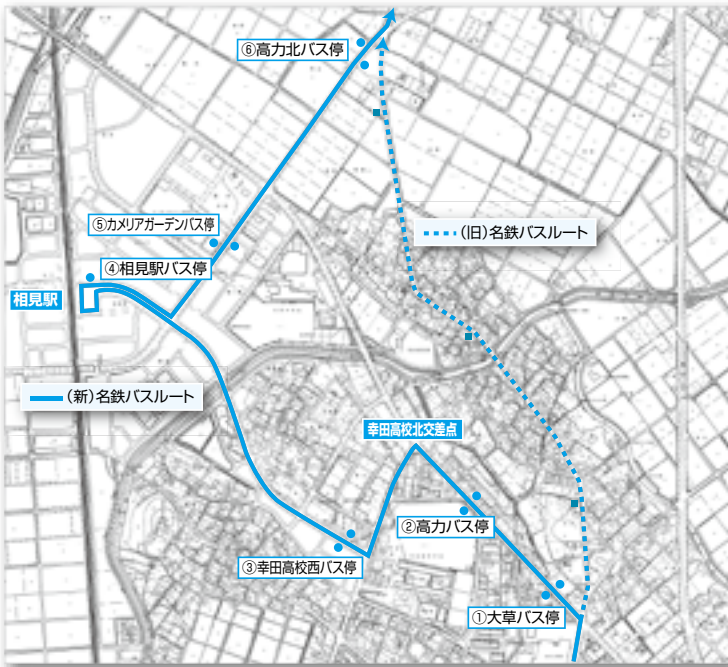
なお、相見駅には平日1日当たり、上下79本の普通列車と、岡崎以東が各駅停車になる「区間快速」7本の合計86本が停車します。

3月17日から

相見駅開業に伴い、 名鉄バスルートが一部 変更になります！

幸田町の中心市街地や岡崎市の南部地域などからJR相見駅への乗り継ぎの利便性を向上させ、さらなる公共交通機関の利用を促進するため、現在の名鉄バスのルートが3月17日（土）から一部変更されます。

なお、今までの名鉄バスルートにつきましては、えこたんバスが補完し、利用者の利便性を確保します。
※左記ルート図をご覧ください。



3月19日から

福祉巡回バスが生まれ変わります！

これまで、ご利用いただきました「福祉巡回バス」が、より多くの皆さんの新たな足となるように「コミュニティバス「えこたんバス」*」として生まれ変わります。【3月19日（月）〜】

えこたんバス

えこたんバスは、役場・駅を拠点とし、ハッピーネス・ヒル・幸田などの町内の主な施設、病院、商業施設などを循環し、駅や名鉄バスへも連絡しています。
また、一定時間帯について小学生を対象とした「スクールバス」として複合利用します。
※詳細は別紙「えこたんバスガイド」をご覧ください。

主な変更内容

- ・ルート数を3本から4本に増やします。
- ・ルートとダイヤが変更されます。
- ・ルート名を「つばき・あじさい・さくら」から「北・中・東西・南」に変更します。
- ・新型車両を2台導入します。



問合せ 企画政策課政策G（内線341）

*愛称「えこたんバス」、バスデザイン、ルート名はアンケートにより決定しました。